

# ハバック仰向き枕 評価結果レポート

株式会社丸井商事 井木英之

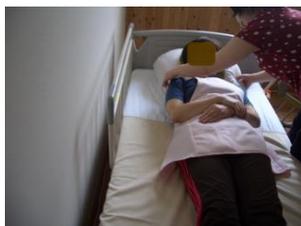
## 検証 1 : 「取っ手付き枕のデザイン検証」

目的 : 「ハバック仰向け枕」の取って取り付け位置の検証

方法 : 介護現場における質問紙調査 (H25/7/4)、回答者 11 名。仰臥位で寝ている利用者を対象に「取って付き枕」を使用してもらい、頭部および肩部の必要性を 3 件法で回答してもらった。

結果 :

頭部			肩部		
良い ○	どちらでも △	必要ない ×	良い ○	どちらでも △	必要ない ×
4 人	5 人	2 人	5 人	4 人	2 人



・実際のところ、本体をガット握りしめ素早く交換、取っ手を探している場合ではなかった。



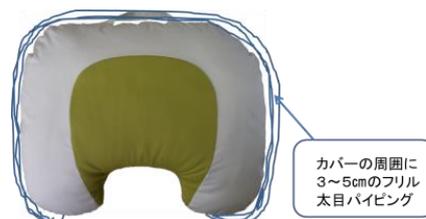
・頭部の取っ手は、初動の取り易さと、車椅子での使用など持ち運びとして良い。



・肩部は、フィッティングの手順としての意図があったが、強度が必要など。

改善方向 :

- ・枕の持ち手として、カバーの淵に 3-5cm のフリル or 太めのパイピングを付けるなど検討したが、見た目デザイン・機能・コスト・汚れ・品質不安定などの要因により非現実的との判断に至った。
- ・頭部の取っ手は、『体位変換の際、枕の取外しに便利、持ち運びにも良い』介護現場の意見から、有り。



## 検証 2 : 「睡眠時の円背姿勢改善効果の検証」

目的 : 「ハバック仰向け枕」のカバーデザインの検証

方法 : 介護現場における質問紙調査 (H25/1/17)、回答者 24 名。『入り口で、寝姿勢を測定させてください』と伝え、カバーのデザイン (水準 A : 一色, B : 小さめ, C : 頭部形状) によって、頭部位置が異なるかどうかを測定した(n=24)。(調査 1)

調査 1 頭部の位置



<メジャーで測定>

合わせて、枕の向きについても確認した。(調査 2)

調査 2 枕の向き



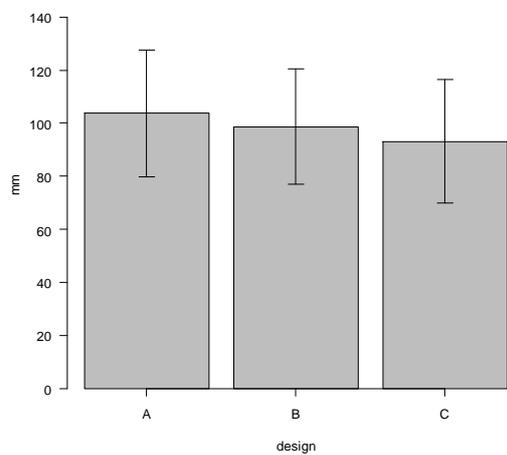
結果 :

カバーのデザイン	A.一色				B.小さ目				C.頭部の形状			
	性別	年代	位置(mm)	向き	性別	年代	位置(mm)	向き	性別	年代	位置(mm)	向き
	男	50	130	凹下	女	20	60	凹下	男	40	85	凹下
	女	70	130	凹下	男	50	130	凹下	男	30	130	凸
	男	40	95	凹下	男	40	90	凹下	男	40	120	凹下
	女	20	130	凹下	男	60	90	凹下	男	30	75	凹下
	男	40	65	凹下	女	50	115	凸	男	20	110	凹下
	男	30	95	凹上	女	60	110	凹下	女	60	70	凹上
	男	50	95	凹下	男	30	85	凹上	女	30	75	凹下
	女	30	90	凹上	男	40	110	凹下	女	50	80	凹下
平均			103.75				98.75				93.125	

・位置 AとCの差は、10mm程で、有意差は無かった。

・向き 凹下 18名 凹上 4名 凸 2名 となった。

[カバーデザイン] によって頭部位置に差が生じるかを一元配置分散分析により検証した結果、本データからは有意差は認められなかった( $p=0.65$ )。



### 検証 3 : 「睡眠時の円背姿勢改善効果の検証」

目的 : 「ハバック仰向け枕」のカバーデザインの検証

方法 : 介護現場における質問紙調査 (H25/1/17)、回答者 9 名。被験者さんに介護職役になって頂き、寝たきりのモデルさんへ、A B C のいずれか一つを頭の下に当てがってもらい。カバーのデザイン (水準 A : 一色, B : 小さめ, C : 頭部形状) によって、頭部位置が異なるかどうかを測定した (n=9)。

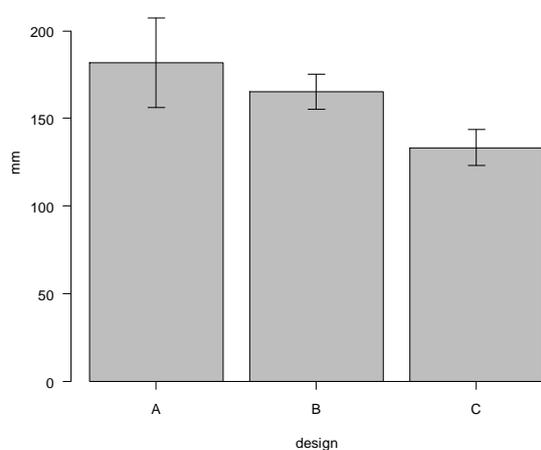


結果 :

カバーのデザイン	A.一色		B.小さ目		C.頭部の形状	
	性別	位置 (mm)	性別	位置 (mm)	性別	位置 (mm)
	女	175	男	175	女	125
	男	160	女	155	女	145
	男	210	女	165	男	130
平均		181.67		165		133.33

- ・位置 AとCの差は、48. 34mm程で、**有意差が確認できた。**
- ・カバーのデザインによって、枕を当てる位置に違いがでた。

[カバーデザイン] によって頭部位置に差が生じるかを一元配置分散分析および多重比較 (Tukey 法) により検証した結果、カバーデザイン A とカバーデザイン C の平均値の差に有意差が認められた ( $p=0.03$ )。平均値の差の信頼区間は  $48.3\text{mm}$  (95%CI:  $5.6\text{mm}-90.9\text{mm}$ ) でカバーデザインの違いによって枕を当てる位置を誘導する効果があると期待される。なお、年齢・性別による影響については、デザイン A,C 間の平均値の差・標準偏差・サンプル数を用いて統計検出力 (Statistical power) の解析を行った結果、 $1-\beta=0.66$  であったことから、不十分ではあるが 66% の検出力で年齢・性別の影響はないことが確認された。



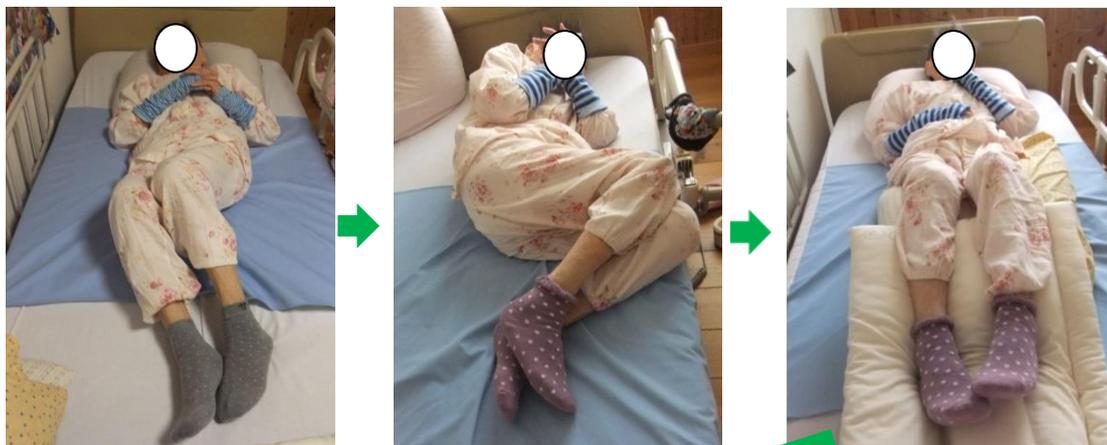
## 検証4： 「睡眠時の円背姿勢改善効果の検証」

目的：「ハバック仰向け枕」の臨床の検証

方法：円背姿勢の影響で、仰臥位寝姿勢が困難な利用者に、枕をあてがい、経過を観察、写真にて検証した。被験者2名。

結果：1) 事例1. 利用者B氏 女性 90才 糖尿病・高血圧・右上腕骨頸部骨折  
食事（車椅子座位）以外は臥床している。  
食事以外ADL全介助、発語ほとんど無く、意思疎通やや困難

◆平成24年10月12日 ピローの使用を開始する

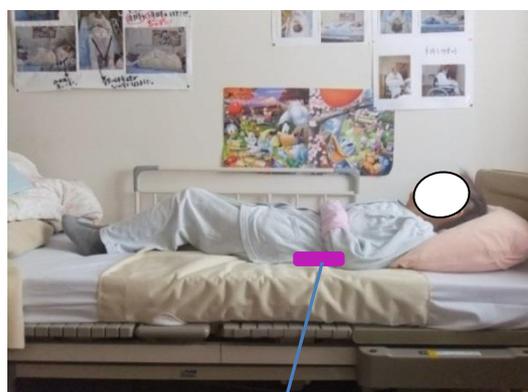


◆仰臥位が取れている



円背の影響で、反りが見受けられる。

◆平成24年11月18日 1ヶ月後の経過



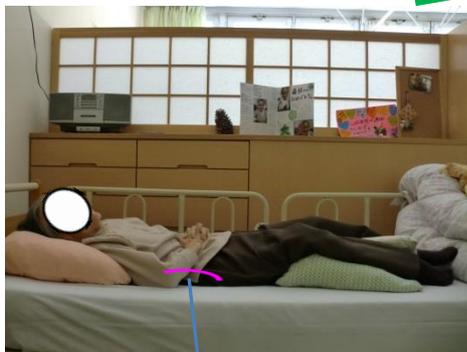
わずかながら、反りが和らぐ。  
身体が、伸びてきている。

2) 事例 2. 利用者 C 氏 女性 88 才 認知症・身体機能低下

◆平成 24 年 11 月 8 日  
ピローの使用を開始する



◆平成 24 年 11 月 23 日



極わずか反りが見受けられる

◆平成 24 年 12 月 8 日



極わずか反りが和らぐ。  
身体が、伸びてきている。

<補足：ポジショニング指導者の所感>

秋山みゆき（静岡県立大学短期大学部）

反りは、円背の方が足を伸ばして寝ようとする場合、起こるようです。

そこで苦しいので、側臥位になります。

この「反り」がおこらないように、頭と膝の下にピローを入れます。

そして、脊柱後彎が改善されると、「反り」が和らぎ、筋緊張の緩和、呼吸の改善が望まれます。従って、円背改善用の枕は、有効だと考えます。



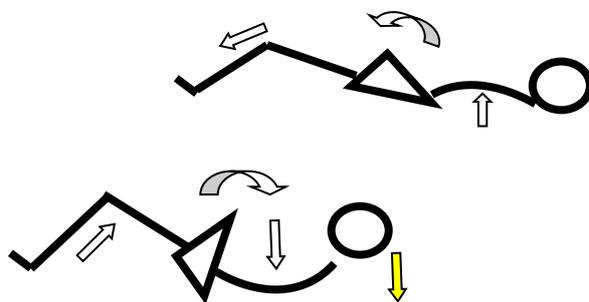
【緊張が高まりにくく、呼吸が楽になる】

【頭の重さで、脊柱後彎のカーブがなだらかに】

拘縮予防・改善の介護 田中義行 中央法規 一部修正

【無理に下肢を伸ばそうとすると

骨盤が前傾し腰が反る】



【下肢を曲げる（股関節を屈曲する）と

骨盤が後傾し、腰の反りが解消される】